

第2部 調査結果の概要

- I. 結婚について
- II. 出産について
- III. 育児について
- IV. ワーク・ライフ・バランスについて
- V. 社会的支援について
- VI. 生活意識について

第2部 調査結果の概要

I. 結婚について

1. 結婚に対する考え方

(1) 結婚の有無（現状）（問1）

まず、結婚に対するあなたの考え方についてお聞きします。

問1 [カード1] あなたは結婚していますか。この中から1つ選んでください。なお、この調査の中で、「結婚」とは法律に基づく結婚のことをさします。

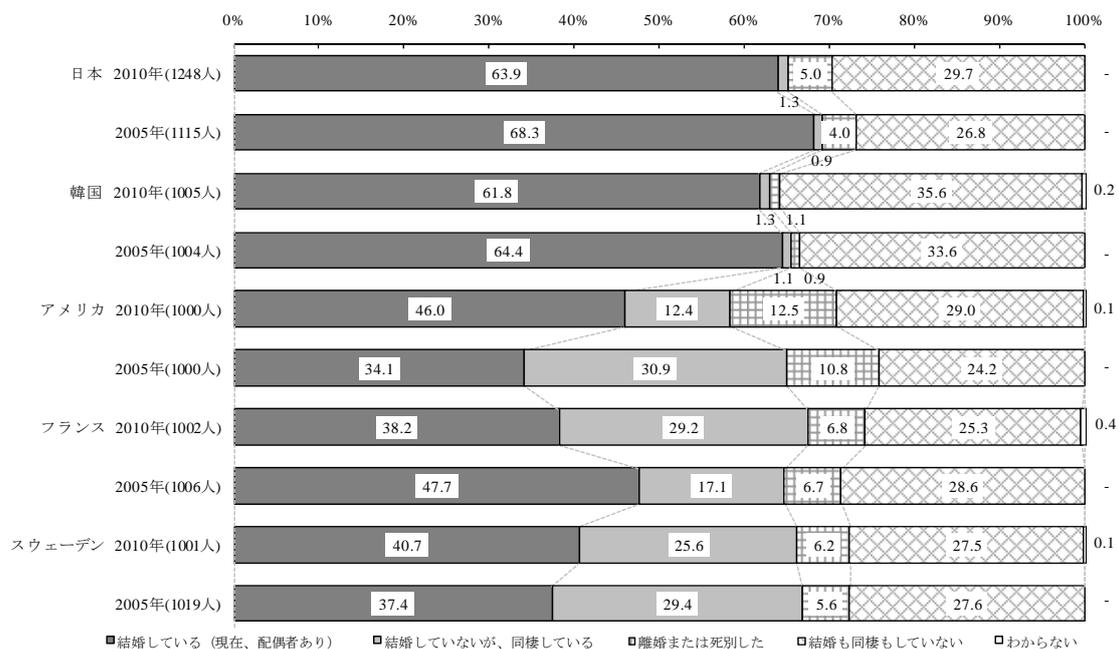
- 1 結婚している（現在、配偶者あり）
- 2 結婚していないが、同棲（特定の相手・パートナーと結婚の届け出なしで一緒に生活すること）している
- 3 結婚したことはあるが、今はそうではない（離婚または死別した）
- 4 結婚も同棲もしていない
- 5 わからない 問5へ

結婚しているかどうか聞いたところ、日本では、前回調査と同様、「結婚している（現在、配偶者あり）」が最も高く 63.9%だが、前回の 68.3%と比べると 4.4 ポイント減少している。

各国前回比較では、アメリカでは、「結婚している（現在、配偶者あり）」が 34.1%から 46.0%と約 12 ポイント増加しており、「結婚していないが、同棲している」が 30.9%から 12.4%と約 19 ポイント減少している。

フランスでは逆に、「結婚している（現在、配偶者あり）」が 47.7%から 38.2%と約 10 ポイント減少しており、「結婚していないが、同棲している」が 17.1%から 29.2%と約 12 ポイント増加している。（図 I-1）

図 I-1



(2) 現在の交際関係 (問 2)

【問 1 で「4 結婚も同棲もしていない」と答えた方に】

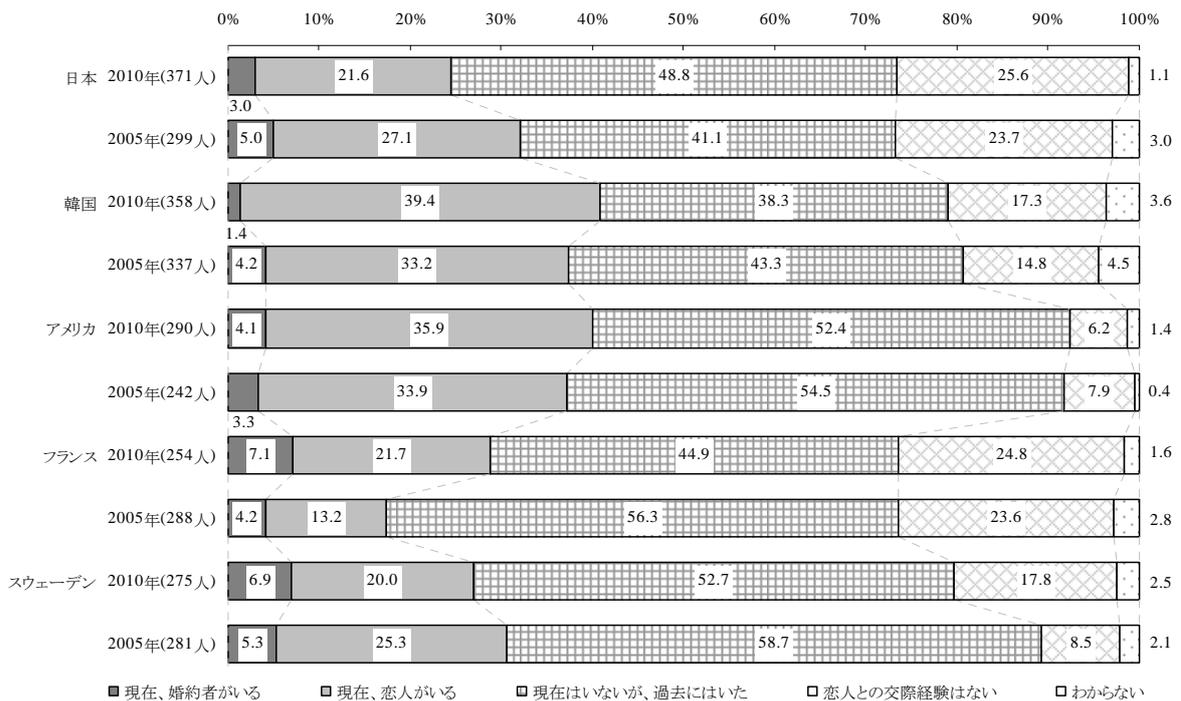
問 2 [カード 2] あなたには現在、親しい間柄の恋人または結婚を約束した婚約者がいますか。この中から 1 つ選んでください。

- 1 現在、婚約者がいる
- 2 現在、恋人がいる
- 3 現在はいないが、過去にはいた
- 4 恋人との交際経験はない
- 5 わからない

結婚も同棲もしていない人に、恋人または婚約者がいるかどうか聞いたところ、日本では「現在、婚約者がいる」は 3.0%、「現在、恋人がいる」は 21.6%で、いずれも前回調査から低下している。一方、「現在はいないが、過去にはいた」は前回調査から 7.7 ポイント上昇し、48.8%である。

各国の前回比較では、韓国、アメリカ、フランスでは「現在、婚約者がいる」、「現在、恋人がいる」を合計した、「婚約者もしくは恋人がいる人」の割合は増加しているが、スウェーデンは日本と同様に減少している。(図 I-2) <参考>

図 I-2



<参考> 「現在、婚約者または恋人がいる」人の割合※の変化

	2005年	2010年	増減
日本	32.1%	24.6%	7.5ポイント減
韓国	37.4%	40.8%	3.4ポイント増
アメリカ	37.2%	40.0%	2.8ポイント増
フランス	17.4%	28.8%	11.4ポイント増
スウェーデン	30.6%	26.9%	3.7ポイント減

※「現在、婚約者がいる」と「現在、恋人がいる」の合計

(3) 結婚に対する意向 (問 3) * 新規の設問

【問 1 で「4 結婚も同棲もしていない」と答えた方に】

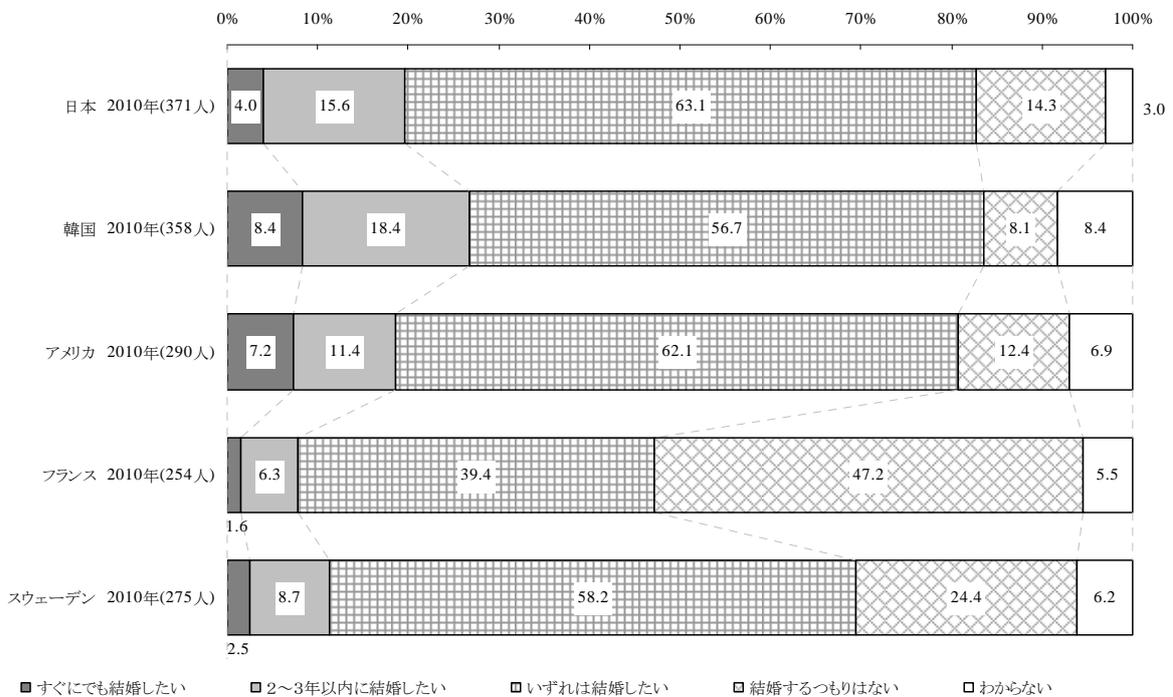
問 3 [カード 3] あなたは、将来結婚したいと思いますか。この中から 1 つを選んでください。

- 1 すぐにでも結婚したい
- 2 2～3年以内に結婚したい
- 3 いずれは結婚したい
- 4 結婚するつもりはない
- 5 わからない

結婚も同棲もしていない人に、将来結婚したいと思うかどうかを聞いたところ、日本では、「すぐにでも結婚したい」は 4.0%、「2～3年以内に結婚したい」は 15.6%。最も割合の多い「いずれは結婚したい」は 63.1%。それらを合計した「結婚したい」意向を持つ人の割合は、82.7%。

各国比較では、「すぐにでも結婚したい」、「2～3年以内に結婚したい」、「いずれは結婚したい」を合計した、「結婚したい」との意向を持つ人の割合は韓国、日本、アメリカ、スウェーデン、フランスの順になっており、特に韓国、日本、アメリカでは 8 割を超えている。日本、韓国、アメリカ、スウェーデンでは「いずれは結婚したい」が最も高いが、フランスでは「結婚するつもりはない」が 47.2%と最も高い。(図 I-3)

図 I-3



(4) 初婚年齢 (問 4)

【問 1 で「1」～「3」と答えた方に】

問 4 a) あなたが最初に結婚したのは何歳の時ですか。

結婚または同棲している、以前結婚していた人に最初に結婚した年齢を聞いたところ、日本では、前回調査と同様 20 歳代で結婚した人が最も高く、73.4%。

各国比較では、韓国では、「25 歳～29 歳」と回答した割合が前回、今回調査ともに 5 割を超えており、アメリカでは「20 歳未満」と回答した人がその他の国に比べて 12.7%と高く、前回、今回調査ともに 1 割を超えている。フランスとスウェーデンでは、「結婚したことがない」と答えた人の割合が最も多くなっている (順に、28.6%、32.1%)。(表 I-1)

表 I-1

		平均年齢 (歳)	20 歳未満	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40 歳以上	結婚したこ とはない	わからない
日本	2010年 (877人)	26.7	2.3	30.1	43.3	16.4	4.8	0.9	1.1	1.0
	2005年 (816人)	26.1	2.7	33.6	44.7	14.6	2.8	0.5	0.5	0.6
韓国	2010年 (645人)	27.7	0.5	18.0	54.0	20.5	4.7	0.5	2.0	-
	2005年 (667人)	27.3	0.4	19.4	54.8	21.5	2.1	0.1	1.7	-
アメリカ	2010年 (709人)	24.7	12.7	36.2	22.3	10.0	2.8	1.7	14.2	-
	2005年 (758人)	24.5	13.1	33.4	25.9	8.6	2.6	1.5	3.2	11.9
フランス	2010年 (744人)	26.5	4.3	18.3	24.6	11.6	3.8	0.9	28.6	7.9
	2005年 (718人)	25.2	7.0	30.8	24.8	12.2	2.2	0.4	22.0	0.5
スウェーデン	2010年 (725人)	28.8	2.8	12.1	22.9	17.0	7.6	3.3	32.1	2.2
	2005年 (738人)	28.1	1.2	14.0	26.6	13.8	5.3	2.3	34.3	2.6

【問1で「1」～「3」と答えた方に】

問4 b) また、最初に同棲をはじめたのは何歳の時ですか。

結婚または同棲している、以前結婚していた人に最初に同棲を始めた年齢を聞いたところ、日本では、前回調査と同様、「同棲したことはない」が最も高く、77.9%だが、前回調査の85.8%から7.9ポイント減少した。また、20歳代で同棲を始めた人は全体の13.0%。

各国比較では、日本と同様に韓国とアメリカでは「同棲したことはない」が前回、今回調査ともに最も高い。一方、フランス、スウェーデンでは同棲経験者の割合が多く、中でも20歳代で同棲を始めた人は6割以上である（順に、63.5%、62.2%）。（表 I-2）

表 I-2

(%)

	平均年齢 (歳)	20歳未満	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40歳以上	同棲したこ とはない	わからない	
日本	2010年 (877人)	23.9	2.5	8.6	4.4	1.7	0.3	0.1	77.9	4.4
	2005年 (816人)	22.7	1.7	3.1	1.5	0.4	-	0.1	85.8	7.5
韓国	2010年 (645人)	25.3	0.5	1.2	1.1	0.5	0.2	0.2	96.1	0.3
	2005年 (667人)	25.7	0.8	0.8	1.9	0.6	-	0.1	93.1	2.7
アメリカ	2010年 (709人)	23.2	18.9	23.6	12.8	3.8	2.3	1.4	36.7	0.6
	2005年 (758人)	23.3	11.3	17.2	7.7	3.6	1.3	1.1	31.5	26.4
フランス	2010年 (744人)	23.1	18.1	43.3	20.2	5.9	1.3	0.5	8.5	2.2
	2005年 (718人)	23.9	8.0	23.1	11.9	5.2	1.3	0.5	40.1	9.9
スウェーデン	2010年 (725人)	23.2	19.9	41.5	20.7	5.5	2.6	0.8	7.0	1.9
	2005年 (738人)	22.2	17.6	31.8	11.4	2.0	0.5	0.5	10.0	26.0

(5) 結婚に対する考え方 (問5)

【全員に】

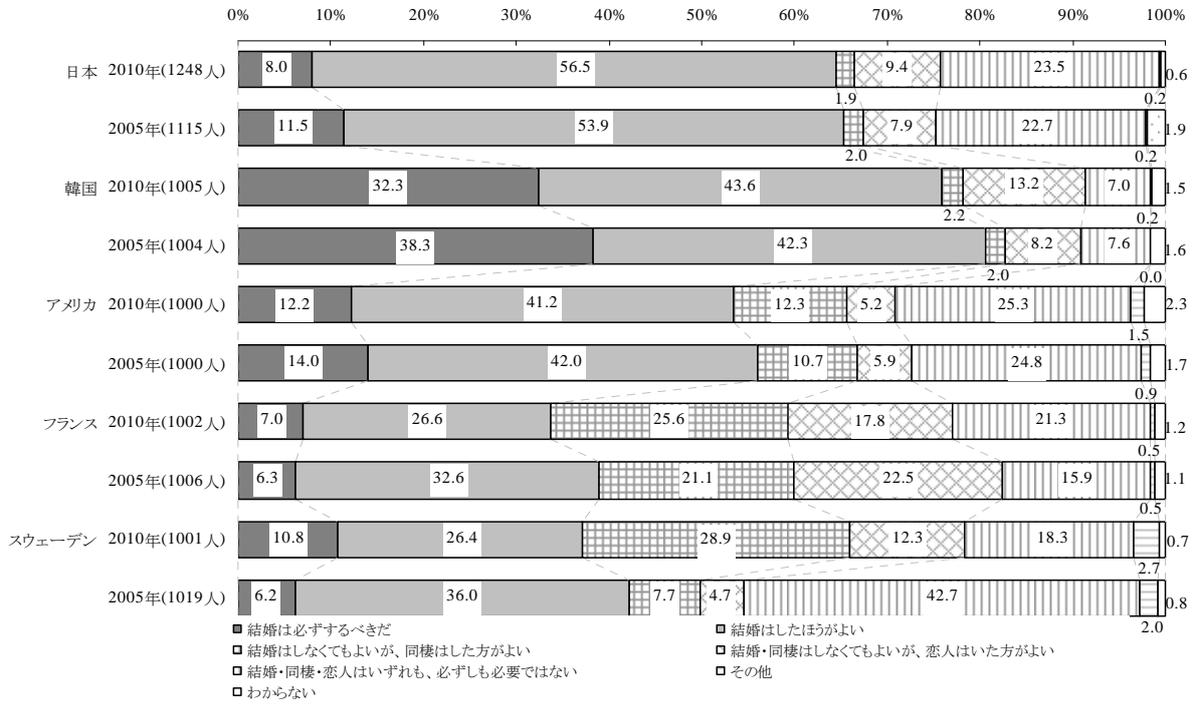
問5 [カード4] 人生における結婚や同棲の必要性に対する以下のような考え方のうち、あなたの意見にもっとも近いものを1つだけ選んでください。

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1 結婚は必ずすべきだ | 5 結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない |
| 2 結婚はしたほうがよい | 6 その他(具体的に) |
| 3 結婚はしなくてもよいが、同棲はした方がよい | 7 わからない |
| 4 結婚・同棲はしなくてもよいが、恋人はいた方がよい | |

結婚や同棲の必要性について聞いたところ、日本では、「結婚は必ずすべきだ」が8.0%で、前回調査の11.5%から3.5ポイント減少している。一方で、「結婚はしたほうがよい」は56.5%で前回の53.9%から2.6ポイント増加しており、「結婚は必ずすべきだ」と「結婚はしたほうがよい」を合計した結婚に肯定的な人の割合は65.4%から64.5%とほぼ横ばいである。

各国比較では、韓国では「結婚は必ずすべきだ」との割合が他国に比べて多く、3割を超え、「結婚はしたほうがよい」を足した結婚に肯定的な人の割合は今回調査では75.9%、前回は80.6%。アメリカは「結婚は必ずすべきだ」とする割合は日本と大差ないが、「結婚はしたほうがよい」を足した結婚に肯定的な人の割合は53.4%で、日本と11.1ポイントの開きがある。フランス、スウェーデンでは、「結婚は必ずすべきだ」と「結婚はしたほうがよい」を足した結婚に肯定的な人の割合はともに4割を下回り(順に、33.6%、37.2%)、他国に比べると少ない。(図 I-4)

図 I-4



2. 結婚生活の条件

(1) 結婚生活や同棲生活をうまくやっていく上で大切なこと（問6）

【全員に】

問6 [カード5] 結婚生活を円滑に送っていく上で、大切だと思われることを、この中から3つまで選んでください。（3M.A.）

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1 夫または妻に対して誠実であること | 9 子どもを持つこと |
| 2 十分な収入があること | 10 子どもが健康に成長すること |
| 3 同じような生活環境の中で育ってきたこと | 11 共通の趣味や興味をもっていること |
| 4 自分または配偶者の両親と別に暮らしていること | 12 夫は働いて収入を稼ぎ、妻は家事・育児を担当すること |
| 5 自分または配偶者の両親と一緒に暮らしていること | 13 夫と妻双方が仕事をもつこと |
| 6 同じ信仰を持っていること | 14 その他（具体的に） |
| 7 性的魅力を保ち続けていること | 15 特に大切なことはない |
| 8 家事・育児を分担しあうこと | 16 わからない |

結婚生活を円滑に送っていく上で、大切だと思われることを聞いたところ、日本では、前回調査と同様、「夫または妻に対して誠実であること」が58.3%で最も高く、前回調査の56.0%よりも2.3ポイント上昇している。次いで「十分な収入があること」が53.4%となっている。また、「家事・育児を分担しあうこと」は41.7%で前回調査よりも8.2ポイント上昇している。

各国比較では、前回調査と同様に日本を含め全ての国で割合が最も高かったのは「夫または妻に対して誠実であること」であり、今回調査では韓国、アメリカ、フランス、スウェーデンで8割を超える（順に、82.6%、86.3%、80.8%、84.9%）。

今回調査で2番目に高かった項目は、各国で異なり、韓国は日本と同様に「十分な収入があること」の67.2%であるが、その割合は日本の53.4%に比べて高い。アメリカでは「性的魅力を保ち続けていること」の40.6%であり、フランスとスウェーデンでは「家事・育児を分担しあうこと」（それぞれ39.4%、46.1%）となっている。（表 I-3）

表 I-3

(%)

	夫または妻 であること	十分な 収入があること	同じよう な生活環 境の中 で育っ てきたこと	親と 自分の 別居	親と 自分の 同居	親と 自分の 同居	性的 魅力 を保ち 続け てい ること	家事・ 育児 を分 担し あ うこ と	子 ども を持 つこ と	子 ども が健 康に 成長 す ること	共 通の 趣味 や興 味を も つ てい ること	夫は 働い て入 収を 稼 ぎ、 妻は 家事 ・育 児を 担 当	夫と 妻双 方が 仕事 をも つこ と	そ の 他	特 に大 切な こと はな い	わ か ら な い
日本	1	2						3		4	5					
2010年(1248人)	58.3	53.4	13.1	3.7	1.9	2.7	2.6	41.7	26.5	33.2	27.6	4.3	5.0	0.2	0.6	0.2
2005年(1115人)	56.0	46.2	14.7	2.6	3.5	3.2	2.8	33.5	29.1	38.0	28.2	5.3	3.0	1.9	1.3	1.0
韓国	1	2							5	3	4					
2010年(1005人)	82.6	67.2	10.6	2.8	2.2	9.3	11.8	18.3	18.8	29.4	27.4	6.8	7.0	0.4	0.1	-
2005年(1004人)	84.3	66.2	12.3	2.1	3.1	11.7	8.4	11.9	23.4	37.0	21.8	8.4	6.3	0.2	0.2	-
アメリカ	1	3					2	5			4					
2010年(1000人)	86.3	36.9	13.5	11.7	0.6	16.2	40.6	19.8	8.9	13.1	22.7	4.9	15.2	0.7	-	0.5
2005年(1000人)	83.3	39.7	17.6	12.2	1.0	16.4	35.5	20.6	10.5	11.3	25.2	3.4	13.1	0.6	0.1	0.4
フランス	1						4	2	5		3					
2010年(1002人)	80.8	15.5	8.3	12.0	1.0	6.5	27.7	39.4	23.8	20.4	34.2	1.0	14.3	0.6	0.2	0.4
2005年(1006人)	77.3	20.2	11.3	11.6	0.6	9.5	40.3	22.8	28.2	13.6	31.0	2.9	11.8	1.0	2.0	0.2
スウェーデン	1	5					4	2		3						
2010年(1001人)	84.9	14.5	7.5	13.5	1.3	8.4	15.3	46.1	10.6	33.6	13.0	1.2	12.1	3.8	0.6	1.1
2005年(1019人)	89.6	17.6	5.5	10.3	0.2	5.9	19.4	66.9	17.5	5.7	27.1	0.3	15.2	0.8	0.1	0.1

注：上段の網掛け数字は各国の上位5項目の順番

(2) 結婚生活について不安に感じる事 (問 7) * 新規の設問

【全員に】

問 7 [カード 6] あなたが、結婚生活について不安に感じることはなんですか。この中からあなたの考えに近いものを、いくつでも選んでください。(M.A.)

同棲している方は、同棲・パートナーとの生活についてお答えください。

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| 1 二人の相性 | 8 自分の自由の制約 |
| 2 二人の間でおこる問題の解決 | 9 子どもの育て方 |
| 3 お互いの親族とのつきあい | 10 子どもの教育 |
| 4 お互いの親の介護 | 11 子どもができない可能性 |
| 5 お互いの前の配偶者やパートナーとの子どもへの向き合い方 | 12 その他(具体的に) |
| 6 結婚生活にかかるお金 | 13 特にない |
| 7 雇用が安定していない | 14 わからない |

結婚生活について不安に感じることを聞いたところ、国によって項目に違いが見られた。日本では、「お互いの親の介護」が最も高く 36.9%。次いで「結婚生活にかかるお金」が 28.4%、「お互いの親族とのつきあい」が 25.5%と続く。

各国比較では、最も高い項目は、韓国、アメリカでは「二人の間でおこる問題の解決」であり、ともに 6 割を超えている。フランスでは「子どもの育て方」が 36.3%、スウェーデンでは「特にない」が 36.7%となっている。2 番目に高い項目は、韓国は日本と同様に「結婚生活にかかるお金」の 37.5%であり、アメリカでは「二人の相性」が 55.8%、フランスとスウェーデンでは「二人の間でおこる問題の解決」(それぞれ、34.8%、25.7%)となっている。(表 I-4)

表 I-4

(%)

	二人の相性	二人の間でおこる問題の解決	お互いの親族とのつきあい	お互いの親の介護	前の配偶者やパートナーとの子どもへの向き合い方	結婚生活にかかるお金	雇用が安定していない	自分の自由の制約	子どもの育て方	子どもの教育	子どもができない可能性	その他	特にない	わからない
日本 2010年(1248人)	17.0	19.7	25.5	36.9	7.5	28.4	18.7	11.9	24.9	23.1	5.0	0.3	12.5	0.4
韓国 2010年(1005人)	28.4	60.3	34.4	10.8	5.0	37.5	12.4	25.8	32.8	34.4	4.2	0.2	3.0	1.0
アメリカ 2010年(1000人)	2	61.7	3	20.8	22.8	5	35.3	29.2	4	37.1	34.3	10.1	0.3	5.4
フランス 2010年(1002人)	25.0	2	34.8	28.9	15.4	16.5	5	3	36.3	1	18.5	10.8	0.9	4.9
スウェーデン 2010年(1001人)	16.8	4	2	15.7	17.6	11.7	5	16.4	11.7	14.9	14.6	10.1	5.1	36.7

注：上段の網掛け数字は各国の上位5項目の順番

3. 独身の理由（問8）

【問1で「2」～「4」と答えた未婚の方に】

問8 [カード7] 現在結婚していない理由を、次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分にもっともあてはまると思われる理由を、3つまで選んでください。（3M.A.）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 結婚するにはまだ若すぎるから | 9 経済的に余裕がないから |
| 2 結婚する必要性を感じないから | 10 結婚生活のための住居のめどがたたないから |
| 3 同棲のままで十分だから | 11 親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から |
| 4 今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから | 12 一生、結婚するつもりはないから |
| 5 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから | 13 その他（具体的に） |
| 6 独身の自由さや気楽さを失いたくないから | 14 特にない |
| 7 適当な相手にまだめぐり会わないから | 15 わからない |
| 8 異性とうまくつき合えないから | |

未婚の人に現在結婚していない理由を聞いたところ、日本では、前回調査と同様「適当な相手にまだめぐり会わないから」が47.2%で最も高いが、前回調査の49.1%よりも1.9ポイント減少している。次に高い「経済的に余裕がないから」の29.8%も前回調査の33.5%よりも3.7ポイント減少している。

各国比較では、最も割合の多い項目は各国ともそれぞれ変わらず、経年変化はみられない。韓国では「結婚するにはまだ若すぎるから」が52.6%で最も高く、次いで「経済的に余裕がないから」が47.6%。アメリカでは「適当な相手にまだめぐり会わないから」が60.6%で最も高く、次いで「結婚するにはまだ若すぎるから」が38.3%。フランスは「結婚する必要性を感じないから」41.8%、「適当な相手にまだめぐり会わないから」40.5%の順、スウェーデンでは「適当な相手にまだめぐり会わないから」51.4%、「結婚する必要性を感じないから」36.9%の順になっている。

また、日本、アメリカ、フランス、スウェーデンの4カ国で「適当な相手にまだめぐり会わないから」は上位2位までに、日本を含めた全ての国で「今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから」は上位5位までに入っている。（表 I-5）

表 I-5

(%)

	結婚するにはまだ若すぎ	結婚する必要性を感じないから	同棲のままで十分だから	今は、仕事(または学業)に打ち込みたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	失いたくないから	独身の自由さや気楽さを	会わないから	適当な相手にまだめぐり	異性とうまくつき合えないから	経済的に余裕がないから	めんどろがたないから	結婚生活のための住居の	ない(だろう)から	親や周囲が結婚に同意しないから	一生、結婚するつもりはないから	その他	特にな	わからない
日本				3	4	5	1	2											
2010年(356人)	14.6	21.6	1.1	27.2	22.8	22.2	47.2	6.2	29.8	3.4	2.0	3.4	0.3	1.7	1.1				
2005年(275人)	22.2	21.5	0.7	29.1	25.5	26.2	49.1	4.7	33.5	1.5	1.8	1.8	1.5	2.5	-				
韓国	1	5		4			3	2											
2010年(340人)	52.6	29.1	0.6	36.2	17.1	12.9	45.9	2.1	47.6	9.1	2.1	1.5	-	1.8	1.5				
2005年(308人)	60.1	27.7	-	43.3	16.7	16.0	41.0	4.5	41.2	6.5	1.4	0.7	-	4.7	2.1				
アメリカ	2	5		3			1	4											
2010年(274人)	38.3	22.6	2.2	25.5	8.4	22.3	60.6	4.0	24.1	2.9	1.5	5.1	1.1	0.4	0.4				
2005年(233人)	24.5	32.6	3.0	20.6	5.6	18.9	54.1	1.7	20.6	1.3	0.4	3.9	3.4	0.4	3.9				
フランス	3	1	5	4			2												
2010年(232人)	29.3	41.8	15.5	18.1	6.0	13.4	40.5	2.6	11.2	4.7	0.4	9.9	1.7	1.7	-				
2005年(268人)	33.1	39.7	17.7	24.2	18.2	24.5	37.0	4.4	12.5	3.3	0.9	9.1	2.9	3.2	1.7				
スウェーデン	3	2		4			1	5											
2010年(249人)	22.1	36.9	9.6	21.3	6.8	10.8	51.4	2.8	13.3	2.8	1.6	3.6	4.4	4.0	2.4				
2005年(260人)	20.4	42.7	8.8	20.8	7.7	11.2	70.4	2.3	10.8	1.2	0.8	4.2	2.7	2.3	0.8				

注：上段の網掛け数字は各国の上位5項目の順番

4. 同棲の経験の有無（問9）

【全員に】

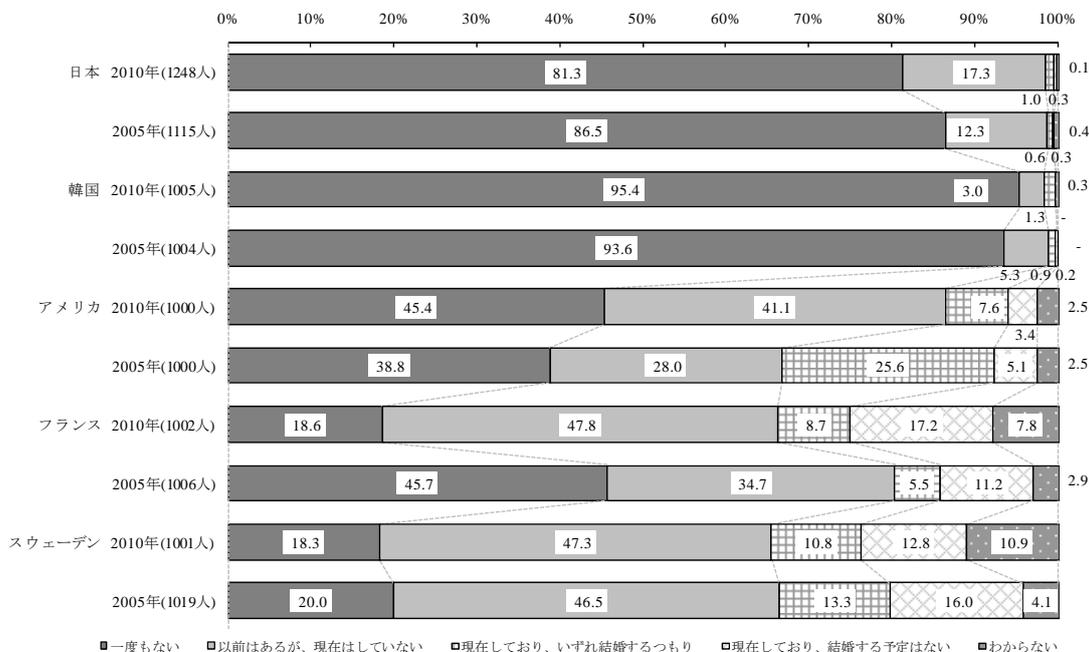
問9 [カード8] あなたは、これまでに同棲を経験したことがありますか。この中から1つだけ選んでください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 一度もない | 4 現在しており、結婚する予定はない |
| 2 以前はあるが、現在はしていない | 5 わからない |
| 3 現在しており、いずれ結婚するつもり | |

これまでに同棲を経験したことがあるかどうかを聞いたところ、日本は、「一度もない」が最も多く81.3%であり、前回調査の86.5%から5.2ポイント減少している。一方で、「以前はあるが、現在はしていない」と「現在しており、いずれ結婚するつもり」、「現在しており、結婚する予定はない」を足した「同棲経験のある人」の割合は前回調査の13.2%から5.4ポイント上昇し、今回調査では18.6%になっている。

各国比較では、「一度もない」は日本と韓国とで高いが（順に、81.3%、95.4%）、アメリカでは5割弱、フランスとスウェーデンでは2割以下と低い（順に、18.6%、18.3%）。同棲経験のある人の割合は、韓国は前回、今回調査ともに10%未満と他国に比べて最も低い。アメリカ、フランス、スウェーデンでは前回、今回調査ともに半数を超え、特にフランス、スウェーデンの今回調査では7割を超えている（順に、73.7%、70.9%）。（図 I-5）

図 I-5



注：フランスの「一度もない」人の割合が大きく減少している背景には、PACS（裁判所への届出を要する公式な同棲）の増加の影響が考えられる。一方で、「以前はあるが、現在はしていない」人の割合が大きく増加している背景として、前回及び今回調査で、同棲を意味する訳語として「コンキュビナーージュ（裁判所等への届出は行わない同棲）」を用いており、そのために、過去にコンキュビナーージュを行っていたが、現在はPACSとなっている人がここに回答している可能性が考えられる。なお、フランスの同棲については、第3部 第1章中の「表1-2『フランスの同棲・PACS・結婚の主な差異』」にまとめられている。

5. 結婚生活を始める際の収入（問 10）

問 10 [カード9] 今日の社会で結婚生活を始める際には、二人でいくら位の月収（税・社会保険料控除後の手取り収入）が必要だと思いますか。この中から1つだけ選んでください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 10万円未満 | 6 50万円以上70万円未満 |
| 2 10万円以上20万円未満 | 7 70万円以上100万円未満 |
| 3 20万円以上30万円未満 | 8 100万円以上 |
| 4 30万円以上40万円未満 | 9 特に収入は関係ない |
| 5 40万円以上50万円未満 | 10 わからない |

結婚生活を始める際には、二人でいくら位の月収が必要だと思うか聞いたところ、日本では、前回調査と同様、「20万円以上30万円未満」が最も多く、41.4%。「20万円以上30万円未満」と「30万円以上40万円未満」の合計は前回調査と同様、8割弱となっている。

各国比較では、割合の多い月収階層を見ると、今回、韓国、フランスでは、「20万円以上30万円未満」と「30万円以上40万円未満」の合計が6割を超えており、アメリカでは「40万円以上50万円未満」と「50万円以上70万円未満」の合計が4割強、スウェーデンでは「30万円以上40万円未満」と「40万円以上50万円未満」の合計が5割弱となっている。（表 I-6）

表 I-6

(%)

		10万円未満	10万円以上20万円未満	20万円以上30万円未満	30万円以上40万円未満	40万円以上50万円未満	50万円以上70万円未満	70万円以上100万円未満	100万円以上	特に収入は関係ない	わからない
日本	2010年 (1248人)	0.2	4.9	41.4	36.1	11.1	3.8	0.3	0.8	0.2	1.3
	2005年 (1115人)	-	6.9	45.5	32.4	9.9	3.1	0.4	0.3	0.5	1.0
韓国	2010年 (1005人)	0.3	6.7	29.9	32.2	17.8	7.9	2.4	0.8	0.7	1.4
	2005年 (1004人)	0.5	16.1	37.2	29.4	10.4	4.0	0.6	0.1	1.7	-
アメリカ	2010年 (1000人)	0.3	2.7	12.3	18.7	22.3	21.8	8.3	5.9	1.2	6.5
	2005年 (1000人)	0.2	3.1	11.1	18.1	18.4	26.5	9.3	5.8	2.2	5.3
フランス	2010年 (1002人)	0.4	6.0	31.2	32.5	17.2	4.6	1.8	0.8	4.0	1.5
	2005年 (1006人)	0.2	4.1	23.3	21.8	12.5	5.2	2.6	0.4	24.9	5.1
スウェーデン	2010年 (1001人)	0.2	3.5	17.5	28.6	20.7	12.9	2.2	0.4	9.4	4.7
	2005年 (1019人)	0.3	4.6	20.1	35.7	25.5	10.0	1.5	0.8	0.3	1.2